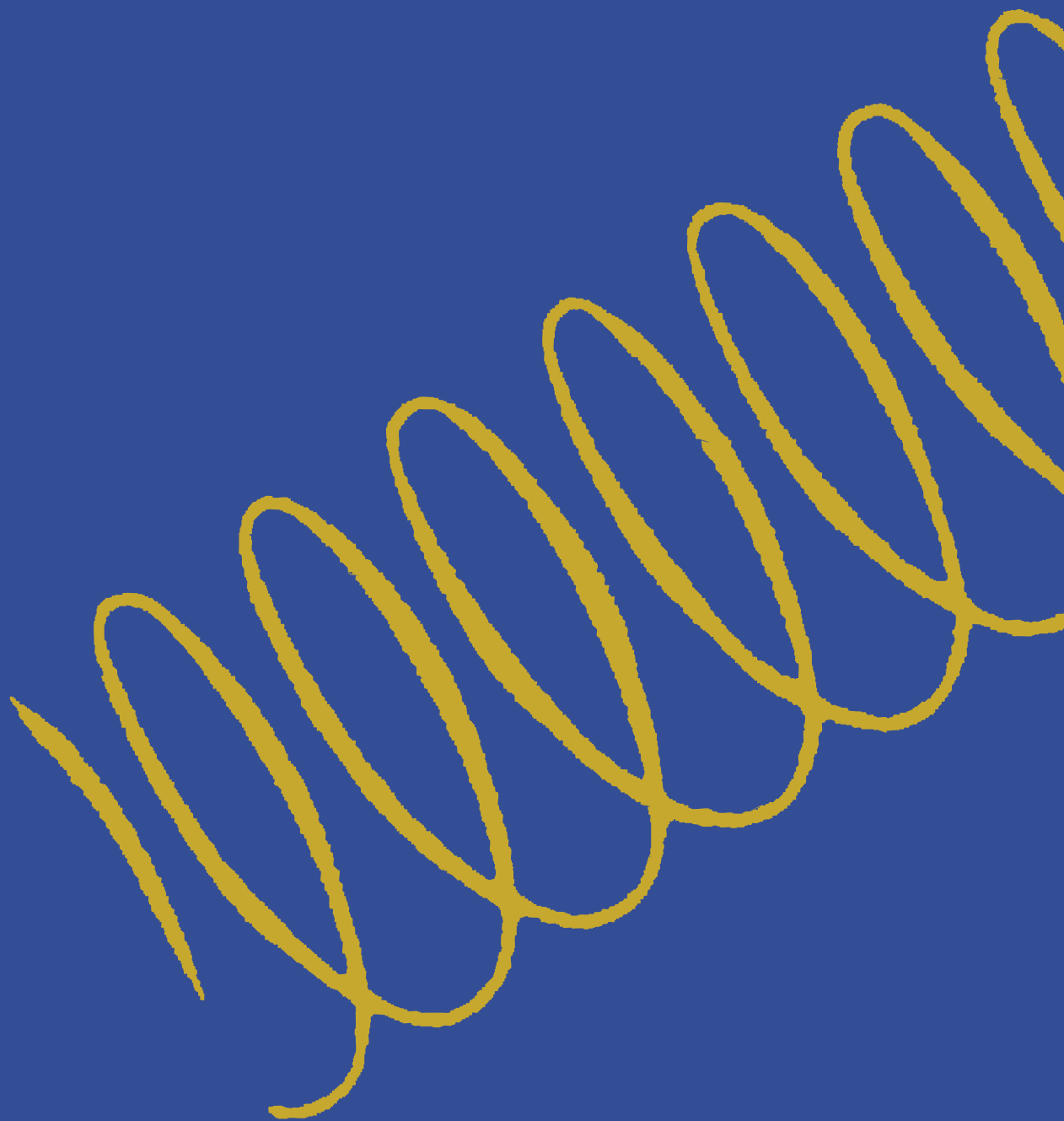




Techtronic age

YAMARI INDUSTRIES, LIMITED



YAMARI INDUSTRIES, LIMITED

山里産業株式会社

- 本 社 大阪府高槻市三島江1丁目5番4号 〒569-0835
Tel.072-678-3453(代) Fax.072-678-3516
- 東 京 支 店 東京都港区芝3丁目3番15号（芝MONTビル）〒105-0014
Tel.03-3454-3691(代) Fax.03-5442-7815
- 名古屋営業所 名古屋市中区伊勢山2丁目5番10号（服部ビル）〒460-0026
Tel.052-323-5781(代) Fax.052-323-5784
- 加古川営業所 加古川市加古川町寺家町47番6号（加古川ベルデモールビル）〒675-0066
Tel.0794-22-6766(代) Fax.0794-22-8366
- 水 島 営 業 所 倉敷市水島西栄町15番23号 〒712-8034
Tel.086-448-5421(代) Fax.086-444-9149
- 北九州営業所 北九州市八幡東区枝光本町8番15号 〒805-0008
Tel.093-671-5834(代) Fax.093-662-3652
- 福 岡 営 業 所 福岡市博多区美野島2丁目23番8号（TWINS202号）〒812-0017
Tel.092-411-5453(代) Fax.092-411-5519
- 長 崎 営 業 所 長崎県長崎市香焼町3021番14 〒851-0310
Tel.095-871-0115(代) Fax.095-871-1001
- 大 分 営 業 所 大分市松原町3丁目4番8号（ピラ松原）〒870-0913
Tel.097-558-3222(代) Fax.097-552-3131
- 高 槻 工 場 高槻市三島江1丁目5番24号 〒569-0835
Tel.0726-78-1313(代) Fax.0726-79-2006
- 長 崎 工 場 長崎県長崎市香焼町3021番14 〒851-0310
Tel.095-871-0115(代) Fax.095-871-1001

ホームページアドレス
<http://www.yamari.co.jp>

Techtron

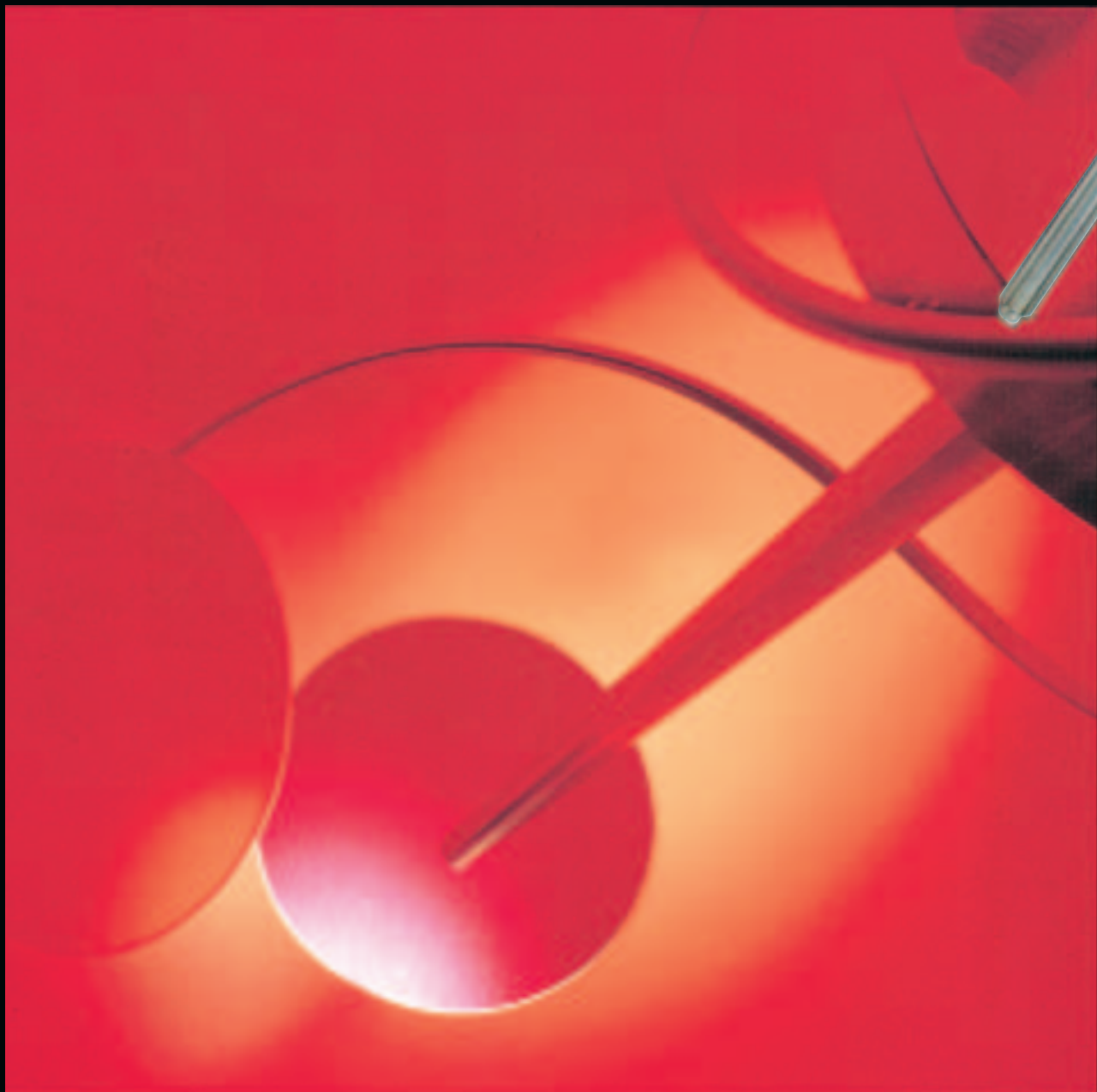
温度のスペシャリストとして

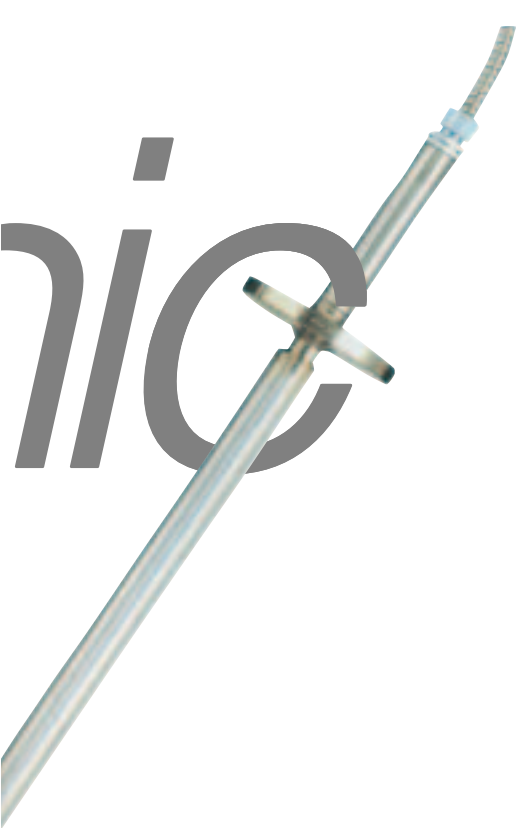
卓越した先端技術で可能性に挑み続ける。

コンピュータリゼーションが進む中、近年さまざまなセンサへの需要が高まっている。

新しいエネルギー開発、生産プロセスの効率化、そして省エネルギー化へ――。

いま^{やま}山里は温度という専門分野で、新しい役割を担ってさらに力強く作動しようとしている。





原始の時代から現在の原子力の時代に至るまで、人間は常にエネルギーとの戦いを繰り広げてきたといえます。当社はこの熱エネルギーを制御する温度センサの製造及び販売を行い、創業以来、幅広い産業分野の発展に貢献してまいりました。そして、コンピュータの急速な進歩の中、計測の自動化、システム化が叫ばれる今日、これら温度センサの役割りはより重要になってきたといえます。当社では、そうした社会背景のもと、より高精度、より高付加価値をもった製品の供給に取り組んでおります。需要家の皆様とともにさまざまな対象物、環境下にも対応できる製品作りを行ってまいりました実績をもとに、たゆみない研究開発と困難に立ち向かう不屈の精神で新たなチャレンジを続ける



代表取締役
則 武 正 平

山 里 産 業。今後とも、より皆様のニーズにお応えできますよう広い視野で「新時代に必要とされる技術集団」として歩んでまいりたいと考えております。

山里産業の歩み

果敢な チャレンジ・スピリットで 無限の可能性を拓ける。

昭和30年、温度測定的重要性に着目し、欧米諸国より輸入販売業務に着手した時から、山里の測温技術追求の歩みが始まりました。それは昭和37年に、自社での組み立て加工へと進み、さらに昭和41年には、合併会社山里エレクトロナイト(株)の設立により、消耗型熱電対の国産化実現へと発展。以来、蓄積された技術は多くのオリジナルブランドを生み出しました。この実績をベースに、今またさまざまな産業分野への対応を目指し、ヒータ産業への参入に加え国際規格であるISO9001の認証を獲得。さらに通産省認定の温度校正事業者として、新たなサービス業務をスタートさせています。



温度センサの重要性と
企業のポジショニング

極低温から超高温まで。 温度分野の研究が 各産業界の可能性を拓く。

創業以来技術革新を続ける当社は、昭和61年に第6回科学技術振興功績者として科学技術庁長官賞を受賞するなど、広くその実績を認められています。しかし、超電導や新素材・新エネルギー開発など、新たな産業分野が出現する今日、測温技術の追求に終わりはないと私たちは考えています。各種産業における問題点を次々と開発に反映させて温度という専門分野で多彩な研究開発に挑み続け各産業界の可能性を拓きさまざまな企業の皆さまと未来の「夢」を共有したいと考えています。



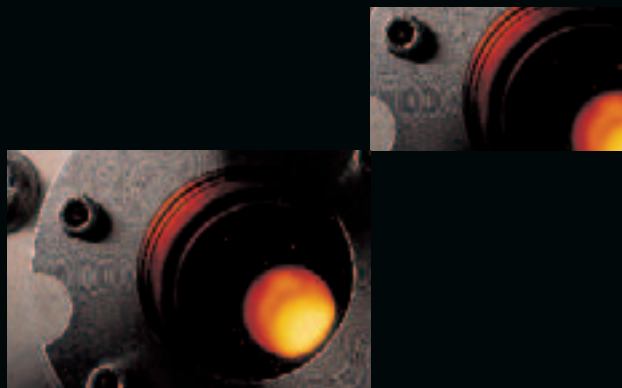
ユーザーの利益を第一に考えた 的確なアドバイスがニーズをウォンツに変える。

さまざまな情報網を駆使して、各分野で望まれている最先端のテクノロジーを模索し、
そこでの温度センサの役割を考える。

理想的なシーンを思い描き、そのイメージにフィットする製品を顧客に提案する——。
やまり
山里の営業・生産体制の基本である。



Concept



生産までのシステム

高度化するユーザーニーズに 応えるエキスパートたち。

ユーザーのニーズも多種多様化。そして複雑化している時代の中で、製品開発の指針となるユーザーのニーズを汲み上げてくるのは、全国の支店・営業所・出張所のテクニカルアドバイザーというべき営業スタッフたちです。当社では、研究開発部門の強化に加え、お客様からの問いを的確に把握し、技術スタッフへと業務をつなげてゆくエキスパートとし

ての役割が担える人材の育成にも力を注いでいます。新しい時代の可能性を問いかけ、提案し、表現できる企業へ。私たちは、さまざまな温度という分野でのプレゼンターであり続けたいと考えているのです。



貿易・輸出入

ハイレベルな技術で 世界をフィールドに。

進んだ欧米諸国の技術輸入から始まった当社も、現在では、長年に培った自社技術力を輸出するまでにいたっています。その取引国は。アメリカ、イギリスを始め、ドイツ、スウェーデンなど広範囲にわたり、その製品は多くの国々で評価されています。また近年では、韓国、台湾などへのメーカーへ技術指導を行うなど、世界を舞台に活躍を続ける当社。業界全体のレベルアップにも大きく貢献しています。



Live messages from YAMARI

営業部

確実なユーザーニーズの把握に加え、どれだけの高付加価値を製品に反映することができるかが、従来にも増して重要な課題とされる現在。納期や価格、迅速な対応等々、トータルな意味でのサービス向上はもちろん、私たちはより高い理想を追求するスペシャリストでなければらばいと考えます。そのため今後も需要家の皆様とのさらなるコミュニケーションの充実を計り、タイムリーな製品の提案を行いたいと思っています。



2000℃の壁。知的冒険心が新たな市場を切り拓く。

ユーザーニーズに端を発した、未来型商品の開発技術者たちは、
トライ&エラーを繰り返し、チャレンジ精神と使命感により、
温度という分野における^{やま}山のテクノロジーをまた、一歩前進させる。



Progress

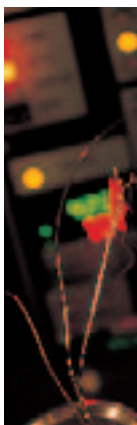




生産機能・品質管理

長い歴史が培った品質システム。 その実績と信頼でISO9001を取得。

鉄鋼・電力・石油化学を始め、さまざまな産業界に用いられる温度計測システムの先端に位置する検出部、それは、超高温・極低温など、使用諸条件に応じ多種多様な設計になっています。つまり全製品が「個別仕様」。また、典型的な多品種少量生産による温度センサは大量生産品並み、あるいはそれ以上の信頼性が求められる製品でもあるのです。研究データをもとにした完成までの検査、厳しい製品チェック。



各々の分担の中で、製品がいかに正確に機能するかにかけるエキスパートたちの技術と情熱が大きな信頼に結びつき、国際規格ISO9001を取得。生産から品質管理にいたるまで、一步高い製品づくりを目指し続けています。



Live messages from YAMARI

企画開発部

それぞれ設計の異なる温度センサづくりの中でも、より困難な依頼を担当する企画開発部では、温度に限らない分野のセンサ開発までも手掛けることがあります。こうした複合センサは、今後さまざまな可能性を内包しているだけに、興味深い研究テーマです。それだけに、自社の技術知識のみ



に留まらず、素材など広く他の知識を吸収することは、我々にとって必要不可欠なのです。



新製品開発

未踏の高温世界へ。 他の測定分野へ。

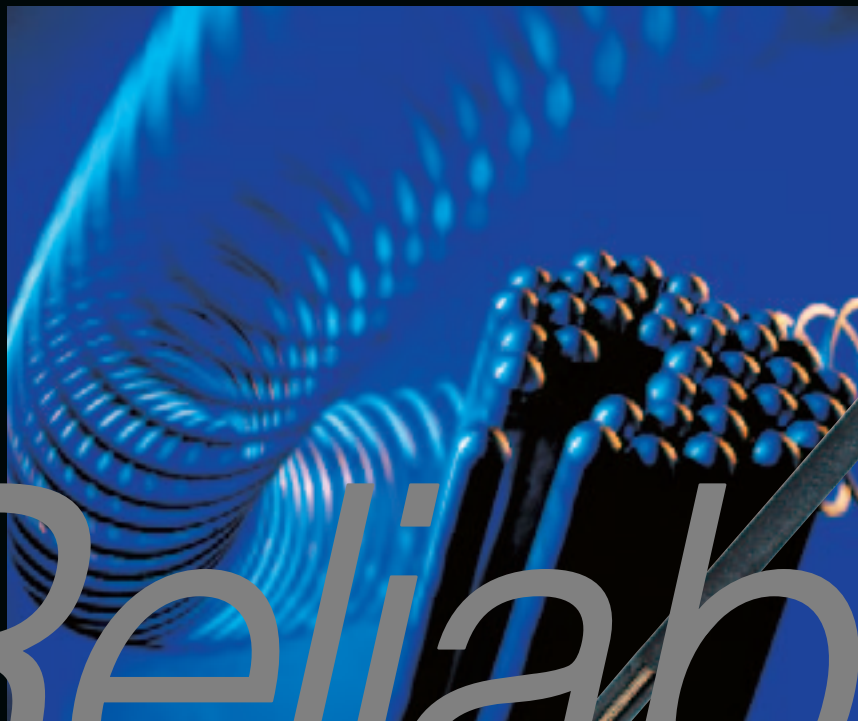
たとえば、超高温領域のように、人には知覚できない世界で繰りひろげられる生産の営み。それを捉え、伝える山里の温度センサは、現在では摂氏2000度という過酷な条件下での高度な測定が可能になって

います。また、当社では、こうした温度領域拡大にともなう技術向上を第1の柱として現在第2の柱ともいえる圧力、流速、歪、成分など、他の測定分野にも積極的に取り組んでいます。



研究開発の結晶を全国にプロデュース。

熱電対線・シース熱電対の輸入から、高温用熱電対シリーズの完成まで、
山里はあらゆる温度センサで、多様なニーズを
高精度にサポートし続けている。



Reliability



熱電対

貴金属・卑金属線を用いて低温から超高温までの工業用温度計測に、広く使用されている温度センサです。一般工業用熱電対や爆発の危険場所に用いられる防爆形熱電対などさまざまな用途に応じた製品をひとつひとつ製造しています。

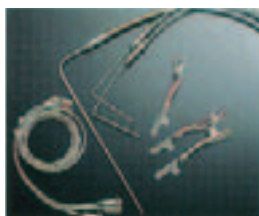
- 保護管形熱電対
- シース熱電対 (THERMIC)
- 超高温用熱電対 (HT-THERMIC)



測温抵抗体

温度に応じて金属線の電気抵抗値が変化する性質を用いて、極低温から高温までの工業用高精度温度計測に広く使用されている温度センサです。一般工業用測温抵抗体や爆発の危険場所で用いられる防爆形測温抵抗体などさまざまな用途に応じた製品をひとつひとつ製造しています。

- 保護管形測温抵抗体
- シース測温抵抗体 (RESIMIC)
- 細管形測温抵抗体 (RESISLIM)



温度センサ用付属品

熱電対及び測温抵抗体用の各種温度センサに必要なさまざまな付属品を取り揃えています。

- 補償導線
- 測温抵抗体用リード線
- サーモウェル
- 各種セラミックス製品
- 各種温度センサ用コネクタ
- 2線式温度伝送器



温度校正装置

(英国ISOTECH社製)

各種温度センサ、放射温度計などの校正試験を行うための校正装置。業務用の一次校正機関用モデルから実用型の産業用モデルにいたるまで幅広いバリエーションを用意し、取りそろえております。

- 三重点装置
- 定点装置
- 比較校正装置
- 放射温度計校正用黒体炉
- 標準白金抵抗温度計
- 0°C基準装置



委託温度校正業務

温度センサ、定点セルをはじめとする各種温度計測器の校正試験を当社標準室にて行ないます。JCSSマーク付など国家標準に対し、トレーサブルな校正証明書を発行致します。

- 計量標準供給制度 (JCSS)に基づく温度校正試験
- 比較校正装置
- 定点校正装置

成分濃度センサ

溶銅中、または燃焼ガス中の酸素濃度を計測する酸素センサ、溶融亜鉛浴中のアルミ濃度を連続測定するアルミ濃度センサなど、工業用に用いる各種センサを開発し、製造しています。

- METAL-OX酸素センサ
- 排ガス用酸素センサ
- アルミ濃度センサ

クリアランスセンサ

(英国BICC社製)

ガスタービンのタービン翼チップクリアランスなど高温環境下でのクリアランス計測装置でエンジニアリング、システム校正を含めトータルに提供しています。

- プローブ
- 電子機器

ヒータ

工業用加熱に広く用いられている電熱ヒータをはじめ、特殊ヒータエレメントを使用した各種ヒータを、真空用、半導体工業用など、さまざまな加熱装置の用途に合わせて設計し、製造しています。

- マイクロヒータ
- シーズヒータ
- カートリッジヒータ
- 各種用途別ヒータ



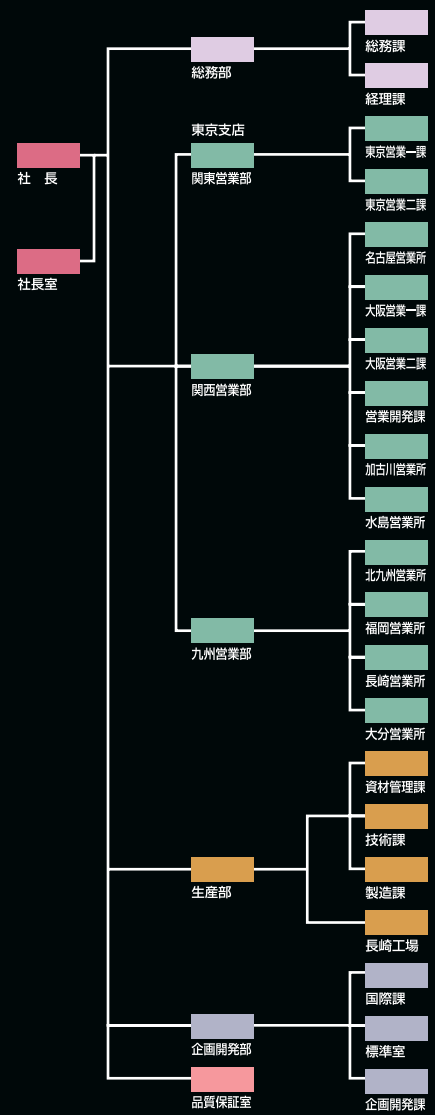
データに見る^{やま}里の潜在的パワー。

より広範囲の分野への供給が期待される、温度センサという特殊製品。

長年の歩みの中で培ってきたこれらの実績をベースに、
未来に向けた新しい視点で事業を進める。



DATA — 組織図



DATA — 海外主要取引先

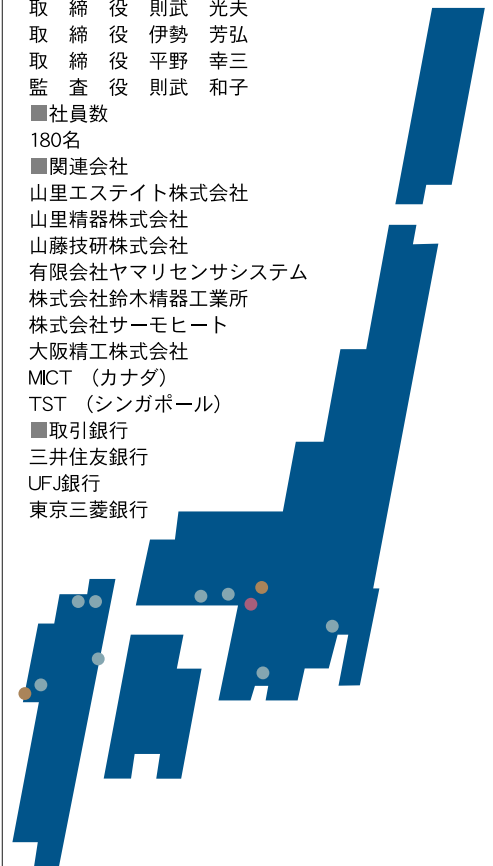
- AJ. Thermosensors Ltd., England
- BICC Pyrotenax Ltd., England
- California Alloy Co., U.S.A.
- Conax Corp., U.S.A.
- Degussa Zweigniederlassung Hanau, Germany
- Halden-Wanger, Germany
- Export Technische Keramik, Germany
- Hoskins Manufacturing Co., U.S.A.
- Isothermal Technology Limited, England
- LEICO Industries, Inc., U.S.A.
- Marathon Monitors Inc.
- Meeco Inc., U.S.A.
- Nanmac Corporation, U.S.A.
- Omega Engineering Inc., U.S.A.
- Phillips Cables, Ltd., Canada
- Sensing Devices Ltd., England
- TSL Group p.l.c., England
- Thermal Development International, England
- Thermocouple Products Co., Inc., U.S.A.
- Wade Enterprise Co., Ltd., Taiwan
- Woojin OSK Corporation, Korea
- Zircoa Inc., U.S.A.

DATA — 会社沿革

- S30.5 熱電対およびその関連器材の輸入販売を始める。
- S36.8 東京支店開設。
- S37.1 英国BICC社と日本総代理店契約を結びシース熱電対線の輸入を開始。
- S37.5 英国BICC社との技術提携により熱電対の加工組立を開始。
- S39.5 北九州営業所開設。
- S40.1 本社新社屋完成。
- S42.5 北九州工場開設。
- S44.1 長崎営業所開設。
- S45.5 高槻工場開設。
- S45.7 大分営業所開設。
- S45.10 大阪中小企業投資育成(株)の資本参加を受ける。
- S53.4 精密機器メーカーの(株)鈴木精器工業所を系列に加え、温度センサの組立加工も開始。
- S58.11 水島営業所開設。
- S60.4 名古屋営業所開設。
- S61.8 山里精器(株)を出資設立し、機械加工部門を分離。
- S61.10 山藤技研(株)を出資設立し、梱包発送部門を分離。
- H3.5 長崎工場開設。
- H5.4 加古川営業所開設。
- H6.8 計量標準供給制度(JCSS)認定事業者資格取得。
温度校正業務を開始。
- H7.1 高槻工場にヒータ工場を増設。
- H7.2 本社を現在地に移転。
- H7.3 国際規格ISO9001認証取得。
- H7.4 福岡営業所開設。
- H9.4 JCSSガラス製温度計校正業務開始。
- H9.11 シンガポールに合併会社サーモセンサーテクノロジー社設立。
- H11.6 米国ハネウェル社製温度計測用トランスミッターの国内総販売代理店契約を結ぶ。
- H11.8 (株)サーモヒート設立。
- H12.8 ㈹ヤマリセンサシステム設立。
- H13.7 JCSS 認定温度範囲拡大
-40~420℃
ガラス製温度計 -50~350℃
- H13.10 セラサーモ製造開始
タングステン・レニウム熱電対開発販売開始。
- H15.8 大阪精工(株)設立(商圏買収)。
- H16.5 高槻に新社屋・工場建設。
シース製造工場建設。
- H16.7 高槻工場 ISO14001 認定取得。

DATA — 会社概要

- 商号
山里産業株式会社
- 本社所在地
大阪府高槻市三島江1丁目5番4号
- 設立
昭和30年5月27日
- 資本金
7,000万円
- 役員
代表取締役 則武 正平
取締役 木村 昌実
取締役 則武 光夫
取締役 伊勢 芳弘
取締役 平野 幸三
監査役 則武 和子
- 社員数
180名
- 関連会社
山里エステイト株式会社
山里精器株式会社
山藤技研株式会社
有限会社ヤマリセンサシステム
株式会社鈴木精器工業所
株式会社サーモヒート
大阪精工株式会社
MICT (カナダ)
TST (シンガポール)
- 取引銀行
三井住友銀行
UFJ銀行
東京三菱銀行



D a t a